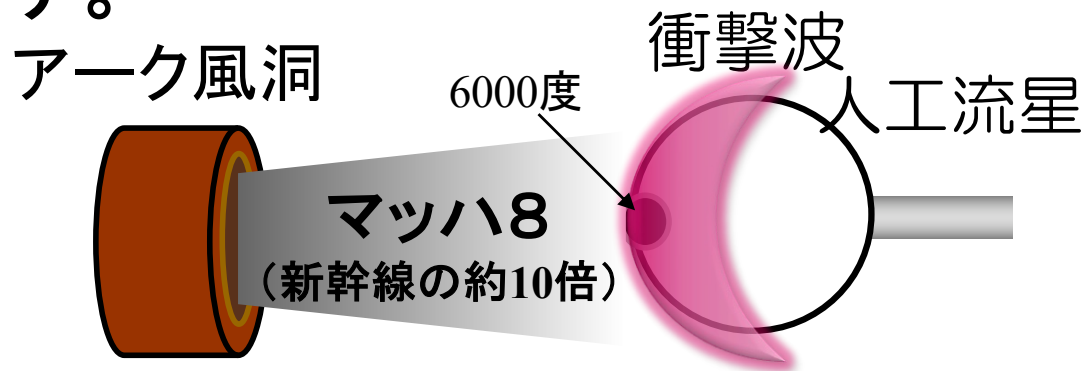


研究室公開展示

M-2 流星模擬実験

- “はやぶさ”などの宇宙往還機は高速で地球大気圏に突入するため、機体前方には**6000度**を超える衝撃波が発生します。
- 本研究室では大気圏突入環境を模擬できる風洞を開発しており、実際に流星が光る状況をデモンストレーションします。



小惑星探査機はやぶさ

大気圏突入環境を実験室で模擬